

市民カメラマンフォトポ

今号は、市民カメラマンの手塚朗さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさんの写真を公開しています。ぜひ、ご覧ください。



4/3 春の合戸池を巡る

日本ラインうぬまの森の西側にある合戸池は周囲をぐるりと歩くことができ、鵜沼台や緑苑団地に住む方々の憩いの散歩道になっています。西側は緑陽中学校の生徒たちの通学路にもなっています。西側は桜が多い広葉樹林で、ちょうどウワミズザクラのブラシのような白い穂花が咲き誇っていました。ツツジが咲き、ツバキの赤い花びらが道に散り咲いているのが鮮やかでした。対岸の陰平山の山腹は新緑が萌えて、とてもきれいでした。

3/27 春の樹木ツアー

小学生 20 人らが、学びの森と市民公園をめぐり、園内の樹木を学ぶ「樹木講座」や、剪定木を使った「モバイル作り」などを行いました。

陵南小学校 4 年の岡部蒼汰さんは、「モバイル作りが楽しかったです。使用する木のバランスなどを意識して作りました」と、満足そうに話しました。



3/30 那加教育福祉複合センター開設式

各務原特別支援学校施設をリニューアルした「那加教育福祉複合センター（愛称：さくらスクエア）」で、開設式が行われました。

浅野市長のあいさつのあと、中部学院大学吹奏楽部による演奏とテープカット、施設利用予定者などを対象とした内覧会が行われ、参加者は新たな施設に期待を膨らませました。

4/1 令和 8 年度「新就職者激励の集い」を開催

新就職者の前途を祝福するために、「新就職者激励の集い」が毎年開催されています。今年は、30 事業所 196 人が出席しました。

新就職者代表の川重岐阜エンジニアリング株式会社の池崎蓮さんが、「失敗を恐れず、どんなことにも立ち向かっていきます」と、誓いの言葉を述べました。



各務原



各務原で働く「しごとびと」を紹介します。移住定住ウェブサイト（OFK）では、より詳しい内容がご覧になれます。



Q どんな仕事をしているの？

市内のイベントの取材、撮影、動画の編集や、テレビ番組の出演・ナレーションなどを行っています。

Q この仕事を選んだきっかけは？

大学で学んだメディアの知識を活かしたいと考えていました。また地元で働きたいという思いも強く、どちらもかなえられるこの会社を選びました。

Q 大切にしていることは？

地域の方とのコミュニケーションを大切にしています。ケーブルテレビならではのローカルな情報を届けられるよう、地域に密着した取材を行うことを意識しています。



テレビ局記者

CCNet 株式会社

小林 拓朗 さん



OFK ボランティアライターとして、市の魅力発信に尽力

こんどう しょうへい
近藤 昇平 さん

39 歳。那加吾妻町在住。メダカ、ミジンコなどを飼育しています。図書館で小説を読むことが楽しみです。

これからも、まちの魅力を発信し続ける

市移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA (OFK)」では、各務原の魅力を発信したいと思っている方が、「OFK ボランティアライター」として取材し、記事の作成を行っています。近藤昇平さんは、令和 7 年 1 月からライターとして活動。これまでに 5 つの記事を作成しました。

近藤さんは、静岡県出身。大学進学のため、沖縄県に移住しました。その後、同県で就職しましたが、転職を機に各務原市へ移住。広報紙を見てライターに興味を持ち、現在は自営業として仕事をする傍ら、ライターの活動をしています。

各務原の魅力を発信したいと意気込む近藤さんのおすすめスポットは、

自然豊かな新境川の河原。一方で、「那加エリアはお店も多く、都会っぽい印象もあります。少し移動ただけでガラッと景色が変わる、各務原ならではの街並みが好きです」と、まちの魅力を語ります。

「取材をするときには、お店の方の思いを引き出すことを特に意識しています」と話す近藤さん。取材を重ねる中で、多くの方が自分の中にこだわりを持っていることに気が付きました。また、取材した内容を記事にする際に、聞き取った思いをどう表現するのかが難しいとも語ります。

近藤さんは「この街に住む人にもっと地元を好きになってもらいたい」という思いで、これからも各務原の魅力を発信し続けます。

